

ぐるっとまつもとバスに係る運賃政策（案）に対するパブリックコメントの結果

1 募集期間

令和7年7月4日（金）から令和7年8月4日（月）までの32日間

2 閲覧方法

- (1) 市ホームページ
- (2) 窓口（公共交通課、行政情報コーナー、各地区地域づくりセンター、松本バスターミナル、山形村窓口（4か所）及び朝日村窓口（1か所））

3 実施結果

- (1) 件数
66件（33人）
- (2) 提出方法
ア 電子申請 61件（30人）
イ 持参 5件（3人）
- (3) 意見等に対する対応

区分	内容	件数
ア 趣旨同一の意見	意見等の趣旨の内容が既に案に盛り込まれているもの	8件
イ 参考とする意見	案を修正はしないが、施策等の実施段階で参考とするもの	16件
ウ 対応が困難な意見	対応が困難なもの	14件
エ その他	案の内容に関する質問等	28件
計		66件

4 意見等の概要及び市の考え方

(1) 全体

No.	意見等の概要	市の考え方
1-1	乗務員負担を軽減しつつ、今後も現在の便数が維持されるよう、他自治体事例を参考に、長期的な視点で施策を実施されたい。便数は、利便性やその他交通モードへの競争力に影響すると考える。	【ア 趣旨同一の意見】 持続可能な公共交通となるよう、引き続き、松本市がルート、便数及び運賃を設定し、事業者が路線バスを運行する「公設民営」に取り組みます。
1-2	キャッシュレス決済を推進する方向性に全面賛成する。地域住民の足の確保をよろしく願いたい。	【イ 参考とする意見】 キャッシュレス化を推進し、利便性の向上を図るとともに、乗降データを活用することで、限られた運転手及び車両で効率的かつ効果的なバス運行及びコスト削減を実現できる

No.	意見等の概要	市の考え方
		よう、引き続き運行事業者と調整します。
1-3	子育て支援（義務教育の中学生まで、小児運賃の適用範囲が拡大されること）及びキャッシュレス決済の運賃割引に賛成する。	【イ 参考とする意見】 持続可能な公共交通サービスを提供するため、引き続き取組みを進めます。

(2) 金額式フリー定期券の導入

No.	意見等の概要	市の考え方
2-1	金額式フリー定期券の導入について、チケットQRアプリでの導入ということだが、同時施行で無くとも地域連携ICカードにも対応してほしい。	【ウ 対応が困難な意見】 地域連携ICカードのシステム機能上、金額式定期券の導入は困難です。

(3) 通学定期券の値下げ

No.	意見等の概要	市の考え方
3-1	変更点を「これが、こう変わる」という形で分かりやすく示してほしい。特に定期券利用の多い学校には、学校単位での説明会が必要ではないか。	【ア 趣旨同一の意見】 変更点が多岐にわたるため、分かりやすい資料で丁寧な説明に努めます。 定期券利用の多い学校での説明会について、開催を検討します。
3-2	通学定期券の値下げは大賛成である。	【イ 参考とする意見】 子ども及び若者に手厚い運賃政策を実施することで、子育て世代を支援します。

(4) 小児運賃適用範囲の拡大

No.	意見等の概要	市の考え方
4-1	小児運賃適用範囲の拡大について、賛成である。ただし、他社における一般的な区分と大きく変わることから、制服を着用していない場面など区別が難しくなることが予想される。少なくとも運行域内の学校の生徒に対して、生徒手帳を携帯し、必要に応じて提示することを周知する必要があるのではないか。 また、運賃ルール等の車内掲示が車両によって統一できていないので、可能な限り同じ場所に掲示されるよう、運行会社との連携が必要ではないか。	【イ 参考とする意見】 利用者及び乗務員の双方にとって分かりやすい運用になるよう、運行事業者と調整します。 また、運賃に係る車内掲示物について、車種や年式により内装及び車内設備が異なる場合でも、統一的に案内できるよう、運行事業者と調整します。
4-2	子どもも通常運賃とし、一律の運賃設定にするべきではないか。	【ウ 対応が困難な意見】 小中学生は、高齢者と同様に移動困難者であり、収入もないことから、

No.	意見等の概要	市の考え方
		小児運賃(普通運賃の半額)を適用します。

(5) 付添い1名当たりの無賃乗車幼児数の拡大

No.	意見等の概要	市の考え方
5-1	子育て世代の支援に賛成する。付添い1名当たりの無賃乗車幼児数が3名までに拡大すると、多子世帯の負担が減り、支援になると思う。また、中学生まで小児運賃適用になるととても助かるため、ぜひ実現してほしい。	【イ 参考とする意見】 子育て支援を目的とした運賃政策が実現できるよう、関係各所との調整及び手続を進めます。

(6) キャッシュレス割引の導入

No.	意見等の概要	市の考え方
6-1	キャッシュレス決済について、学生などの若年層への配慮が足りないと感じる。チケットQRアプリはアカウント作成が必要であるし、クレジットタッチ決済はクレジットカードが必要である。移動手段のない学生こそ主要な利用者である。	【ア 趣旨同一の意見】 交通系ICカードを含む地域連携ICカードを令和8年3月14日(予定)から導入します。 なお、現在もアカウント作成が不要なチケットQR紙製プリペイドカードを松本バスターミナルで販売しています。
6-2	何でもキャッシュレスにするのはいかがなものか。	【ウ 対応が困難な意見】 キャッシュレス化を推進し、利便性の向上を図るとともに、乗降データを活用することで、限られた運転手や車両で効率的かつ効果的なバス運行及びコスト削減を実現するものです。利用者に対して、丁寧な説明と周知に努めます。
6-3	キャッシュレス決済割引を続けてほしい。	【ウ 対応が困難な意見】 キャッシュレス決済の普及促進に向けた時限措置であることをご理解願います。
6-4	キャッシュレス割引の導入について、賛成である。主要ブランドのクレジットカードが使えない状況は、不公平感があるので改善してほしい。欧州の旅行客は、特定のブランドのクレジットカード保有率が高いと感じる。	【エ その他】 一部のブランドのクレジットカードは、決済ブランドと決済代行会社との契約要件により、クレジットタッチ決済が利用できません。引き続き決済代行会社に、対応を働きかけます。

(7) 福祉100円バス助成事業の決済方法のキャッシュレス化

No.	意見等の概要	市の考え方
7-1	一般路線で福祉100円バス乗車パス券を利用している。毎回小銭を	【ア 趣旨同一の意見】 地域連携ICカードに100円の

No.	意見等の概要	市の考え方
	用意することが大変であり、カードタイプでチャージできるものを作ってほしい。	定額支払機能を付与した専用カードによる支払を、令和8年3月14日(予定)から導入します(一般路線のみ)。
7-2	福祉100円バス乗車パス券を利用している。利用頻度が多いため、小銭が不足する。キャッシュレス化は、とても嬉しい。できるだけ早く実装してほしい。	なお、現在も、チケットQRアプリ、クレジットタッチ決済及びチケットQR紙製プリペイドカードでの支払が可能です。
7-3	一般路線で福祉100円バス乗車パス券を利用している。支払方法が現金だけなのを何とかしてほしい。	
7-4	運賃の改定そのものには賛成だが、福祉100円バス助成事業の自己負担額も値上げすべき。現役世代にだけ負担が増える施策で、福祉100円バス助成事業対象者が負担増にならないのは不公平である。なぜこの差が発生しているか説明があって然るべきである。	【イ 参考とする意見】 福祉100円バス助成事業は、高齢者等の社会活動及び公共交通機関の利用を支援し、高齢者等の福祉の増進を図るため、平成11年から実施しています。 一方で、人口減少、少子高齢化等社会構造の変化に伴い、同様の事業について見直しを進める自治体があります。事業の持続可能性及び公平性といった観点から、今後、制度の在り方について研究を進めます。
7-5	福祉100円バス助成事業のキャッシュレス化について、高齢者の中にはスマートフォンやキャッシュレス決済対応が難しい人もいるので、現金支払を残してほしい。	【イ 参考とする意見】 キャッシュレス化を推進し、利便性の向上を図るとともに、乗降データを活用することで、限られた運転手や車両で効率的かつ効果的なバス運行及びコスト削減を実現するものです。
7-6	福祉100円バス乗車パス券を利用している。支払をキャッシュレスだけにすると、高齢者や障がい者が手間取るのではないか。現金払もできるようにしてほしい。	実施に当たり、丁寧な説明や周知はもちろん、1年間の現金併用期間を設定し、混乱が最小限となるよう努めます。
7-7	福祉100円バス助成事業のキャッシュレス化について、便利なことは理解しているが、利用者には難関である。クレジットカード作成、スマートフォンの操作等キャッシュレス対応の準備に苦慮するのではないか。利用者は高齢者や障がい者だということを前提に考えてほしい。どうしても実施するのであれば、市役所や支所での相談会を開催するなど、丁寧な周知をお願いしたい。若者感覚	また、介護認定の状況、障がいの特性に応じて、引き続き現金での支払を検討します。 なお、地域バスは、福祉100円バス助成事業のキャッシュレス化を含む運賃政策の実施の対象外です。

No.	意見等の概要	市の考え方
	で、何でもDXでという考えは管理側の考え方であり、市民の立場に立った対応を望む。ほしみ線などの地域バスに、この方法が導入されないことを望む。	
7-8	福祉100円バス助成事業のキャッシュレス化について、発行済みのICカードやチケットQRアプリに福祉パスの利用情報を付け加える方式だと窓口の混雑が予想されるし、カードの見た目では判断できず、不正利用の温床になりかねないのではないかと。また、福祉100円バス乗車パス券を提示し、乗務員が端末操作を必要とする方式ならば、降車時にこれまで以上の時間を要することが予想される。以上のことから、福祉100円バス乗車パス券を兼ねた専用のICカードを発行するのが妥当と考える。	【ウ 対応が困難な意見】 福祉100円バス乗車パス券を兼ねたICカードの発行は、新たなシステム構築が必要なため困難です。一般路線は、地域連携ICカードに100円の定額支払機能を付与した専用カードをご利用ください。券面は、通常のものと同様となる予定です。 降車時には、現在と同様に、福祉100円バス乗車パス券を提示してください。
7-9	松本市民だけではなく、長野県民の障がい者の運賃を考えてほしい。	【ウ 対応が困難な意見】 松本市福祉100円バス助成事業は、松本市民限定の事業です。 なお、市外在住の方は、各種障害者手帳を提示いただくと福祉割引運賃（普通運賃の半額）が適用されます。
7-10	福祉100円バス助成事業のキャッシュレス化について、利用動向を把握する上で必須だと思うので賛成である。使用できる決済手段は、交通系ICカードなのか、それともチケットQRなのか。チケットQRは、読取機器へのかざし方にコツがあることから、動作安定性のあるICカードの方がトラブルが少ないと考えられる。	【エ その他】 現在のチケットQRアプリ、クレジットタッチ決済及びチケットQR紙製プリペイドカードに加え、地域連携ICカードに100円の定額支払機能を付与した専用カードでの支払を令和8年3月14日（予定）から導入します（一般路線のみ）。

(8) 基本運賃の改定

ア 基本運賃

No.	意見等の概要	市の考え方
8-1	バス運賃を下げるべきではない。むしろ上げて良い。燃料費も値上がりしているし、乗務員に還元するなり、人を増やすなどすべき。	【ア 趣旨同一の意見】 昨今の人件費及び燃料費等の高騰を受け、基本運賃を一律20円値上げするものです。
8-2	山形村は、高校生の通学で非常に	【イ 参考とする意見】

No.	意見等の概要	市の考え方
	不便を感じる。現在高校生の子どもが山形線を毎日利用しているが、運賃が高い。	ぐるっとまつもとバスの運賃体系は、距離に応じて運賃額を決める対キロ区間制を採用し、限られた運転手や車両で地域全体のダイヤを編成しています。次期ダイヤ改正の参考とします。
8-3	運賃値上げ自体には賛成だが、一律20円ではなく、50円単位の運賃に調整すべきでは。両替の手間削減や遅延解消、釣銭準備の経費削減につながると考える。	【ウ 対応が困難な意見】 キャッシュレス決済を推進することで、両替及び釣銭準備に伴う利用者の手間及びストレスを減らすとともに、バス運行の定時制の向上や運転手の負担軽減を図るものです。
8-4	運賃の値上げは、避けてほしい。	【ウ 対応が困難な意見】
8-5	運賃は、現行のままで、便数を増やしてほしい。	昨今の人件費、燃料費等の高騰を受け、基本運賃を一律20円値上げするものです。 なお、キャッシュレス決済を利用する場合は、時限的に現行の運賃と同額で乗車できるようにします。 運転手不足が課題となっている状況を踏まえ、引き続き効率的かつ効果的なバス運行を検討します。
8-6	示された運賃政策とは逆の意見にはなるが、日頃利用している者として、便数を増やしながらか、少しでも安くしてほしいのが本音である。	【エ その他】 昨今の人件費、燃料費等の高騰を受け、基本運賃の値上げ及び回数券の割引率を引き下げるものです。運転手不足が課題となっている状況を踏まえ、引き続き効率的かつ効果的なバス運行を検討します。

イ 回数券

No.	意見等の概要	市の考え方
8-7	回数券の割引率引下げについて、これまでの13枚綴りは、利用者としては他地域と比べ破格と感じていたため、11枚相当額になることはやむを得ないと思う。現行の紙製もぎり回数券の使用期限は、1年間が妥当と考える。半年間ならば、返金受付も検討するべきではないか。	【イ 参考とする意見】 現行の紙製もぎり回数券の使用期限などの詳細については、現在運行事業者と協議中で、今秋に周知する予定です。松本市の運賃政策に伴う見直しのため、払戻し等については、できる限り利用者の不利益にならない方法を検討します。
8-8	紙製の定期券及び回数券の販売終了に関する周知を早期に（3月14日からの変更なら8月から）行うべきではないか。	【ウ 対応が困難な意見】 運賃政策の実施は、パブリックコメント等の結果を市議会へ報告した後、松本地域公共交通会議運賃協議

No.	意見等の概要	市の考え方
		部会で協議し決定します（10～11月開催予定）。そのため、ご提案の8月からの周知は、困難です。
8-9	キャッシュレス決済に不慣れなため、割引率も含めて、紙製もぎり回数券を廃止せずに引き続き販売してほしい。	<p>【ウ 対応が困難な意見】</p> <p>キャッシュレス化を推進し、利便性の向上を図るとともに、乗降データを活用することで、限られた運転手や車両で効率的かつ効果的なバス運行及びコスト削減を実現するものです。加えて、昨今の人件費、燃料費等の高騰状況に伴い、回数券の割引率を引き下げるものです。持続可能な公共交通サービスの提供のため、ご理解願います。</p> <p>キャッシュレス化に当たっては、利用者に対して、丁寧な説明及び周知に努めます。</p>
8-10	利用すればするほど安くなるようにしてほしい（30枚綴りで割引率が更に高い回数券の販売など）。	<p>【ウ 対応が困難な意見】</p> <p>昨今の人件費、燃料費等の高騰を受け、基本運賃の値上げ及び回数券の割引率の引下げを実施するものです。運転手不足が課題となっている状況を踏まえ、引き続き効率的かつ効果的なバス運行を検討します。</p>
8-11	回数券割引率の引下げが収益改善につながるならば賛成。ただし、チケットQRアプリ内プリペイドについて、積極的な周知がされていないと感じる。	<p>【エ その他】</p> <p>チケットQRアプリ内プリペイドを含めて、引き続きキャッシュレス決済の利用による利便性及びバス運行の定時性向上などのメリットについて周知に努めます。</p>
8-12	紙製もぎり回数券を廃止することのだが、すべてQRコードが印字されたプリペイドカード販売に切り替わるのか。ICカードの早期導入が難しい場合は、現在回数券が販売されている窓口がなるべく維持されるとありがたい。	<p>【エ その他】</p> <p>チケットQRアプリ及びチケットQR紙製プリペイドカードで販売します。チケットQR紙製プリペイドカードは、松本バスターミナルなどで販売する予定です。</p>
8-13	様々な事情でクレジットカードやスマートフォンを持ってない人、災害時、通信障害時への対応として、現金と紙製プリペイドカードの選択肢があるのはありがたい。紙製プリペイドカードの販売場所は、各地に設置されたい。	<p>【エ その他】</p> <p>チケットQR紙製プリペイドカードの販売場所は、利便性を考慮しながら、運行事業者と調整します。</p>

(9) 地域連携 ICカードの導入

No.	意見等の概要	市の考え方
9-1	チケットQRアプリは読み込みにくいときがある。スマートフォンなどのモバイル端末を所持していない人には使用できないのが不便と感じる。できれば長野市のKURURUのようなICカード（鉄道でも使用可能なもの）を早期に導入してほしい。	【ア 趣旨同一の意見】 令和8年3月14日(予定)から長野県下統一地域連携ICカード(KURURU)を導入します。これにより、Suicaをはじめとする交通系ICカードでの決済ができるようになります(一般路線のみ)。
9-2	地域連携ICカードの導入に際し、長野市のような乗継割引は実施するのか。	【イ 参考とする意見】 今回の地域連携ICカード導入時に乗継割引を導入する予定はありませんが、実施を検討します。
9-3	地域連携ICカードの導入に賛成。回数券と同等の割引率のポイントになると良いと考える。	【イ 参考とする意見】 回数券の割引率の引下げについては、高過ぎた割引率の是正をするものです。
9-4	Suicaなどのプリチャージ式ICカードの導入に反対する。欧米では、クレジットカードのタッチ決済が主流で、ぐるっとまつもとバスでも既に利用可能である。日本独自規格のため、いずれ使われなくなると感じる。クレジットカードのタッチ決済は、非常に簡単だった。	【イ 参考とする意見】 松本市では、Suicaなど交通系ICカードを含む主要なツールが使える環境の構築を本格運用最終形と位置付け、目指す到達点とし、キャッシュレス決済を推進しています。 長野県においても、県が事務局となる長野県公共交通活性化協議会にて地域連携ICカードを県下統一カードとして導入を進めることとしており、県と市が連携して取組みを進めているところです。 現在もクレジットカード決済などは利用できますが、令和5年度実施の利用者アンケートでは、交通系ICカード利用を望む意見が多く寄せられています。 将来的なキャッシュレスの動向を踏まえて、交通系ICカードの取扱いを検討していきます。
9-5	一刻も早くSuicaを利用可能にしてほしい。こういう小さなことで女性及び若者の流出に拍車がかかると感じる。かくいう自分も不便すぎて本年8月に県外(東京)に転出する予定である。	【ウ 対応が困難な意見】 地域連携ICカード導入に当たり、関係各社との調整をはじめ、バス車内機器の更新及び新たなシステムの構築が必要となり、年単位での準備期間を要します。現状の令和8年3月14日(予定)の利用開始につい

No.	意見等の概要	市の考え方
		てご理解願います。
9-6	日本独自規格である交通系 IC カードに予算を使うよりも、チケット QR アプリの操作方法及び決済連携機能を改善し、より便利な支払システムになるよう求める。	【エ その他】 チケット QR アプリの優位性及び利便性について周知に努めるとともに、操作性の向上について、ご意見をアプリ開発業者に伝えます。
9-7	地域連携 IC カードの導入について、決済端末が複数になり、タッチ間違えなど、乗降がかえって滞ることが想像される。既にチケット QR とクレジットタッチ決済端末が混在しているため、IC カード及びクレジットタッチを同じ端末で扱えるようにしてほしい。	【エ その他】 現在のところ、地域連携 IC カードとクレジットタッチ決済の読取機が一つになった端末機器はありません。地域連携 IC カード、クレジットタッチ決済及びチケット QR の3つの決済端末が併存するため、利用者が混乱しないよう、配置及び案内方法を工夫します。

(10) 全路線フリー1日乗車券の導入

No.	意見等の概要	市の考え方
10-1	全路線フリー1日乗車券の導入について、どのような媒体で販売するのか。IC カード、チケット QR 等を活用して、暦日ではなく、24時間、48時間等宿泊者にも利用しやすい形を目指してほしい。タウンスニーカーの1日乗車券も同様である。	【イ 参考とする意見】 当面は、紙製の乗車券とします。デジタル媒体での展開及び券種については、販売状況を考慮した上で検討します。 なお、旅の思い出となるようなデザインを検討します。

(11) 要望等

ア 便数及び時分設定等

No.	意見等の概要	市の考え方
11-1	通勤で利用する空港今井線が、毎朝約20分遅れるため、松本バスターミナルに9時までに到着できず手前で降車している。次便が追いつき10分後に空いているバスが続いてくる非効率な運行に不満を感じている。確実に9時前に松本駅に到着する便（例：8時野溝口発）の新設を希望する。南松本駅周辺踏切工事により、国道19号に車が流入し、更にダイヤが遅延することを懸念している。 降車時の両替率が高いことが、遅延の一因になっていると感じる。キャッシュレス決済の利点をアピールされたい。通勤に必須の路線なので早急な改善を求める。	【エ その他】 限られた運転手や車両で地域全体のダイヤを編成しています。次期ダイヤ改正の参考とします。

No.	意見等の概要	市の考え方	
11-2	運賃を上げるならば、浅間線の朝のダイヤを変えてほしい。午前8時30分の始業に間に合うバスがなく、横田信大循環線に乗るため、浅間温泉入口停留所まで歩いている。8時10分頃に松本駅着の便がほしい。定期代が無駄になっていると感じる。		
11-3	北市内線の便数をもっと増やしてほしい。特に土休日は、松本駅お城口発午後7時45分が最終のバスで不便である。平日ももう少し遅くまで運行してほしい。		
11-4	朝晩の通学時間帯の便数を増やしてほしい。タウンズニーカー南コースの午前7時台、午後4時台及び午後5時台は、30分に1本運行してほしい。庄内地区は、商業施設やマンション、アパートが多く、車を所有しない家庭も多いと感じる。また、子育て世帯も多く、通学にタウンズニーカーを利用し、松本駅周辺まで行くことができればかなりスムーズに通学できるのではないか。自転車通学の場合、雨の日に保護者送迎が必要であり、バス通学ができれば保護者の負担が減る。近年は、受験し学区外通学をする中学生も増えているようだ。是非検討願いたい。		
11-5	山形線について、平日と比べて土休日の便数が少なく不便である。電車の方が安く便利のため、JR広丘駅を利用することもあるが、車での送迎が必要である。		
11-6	山形線について、土休日の通学時間帯の本数を増やしてほしい。		
11-7	臨時便でも良いので、観光地を結ぶバス路線の拡大による魅力度アップを希望する。 (例：松本駅→あがたの森→旧山辺学校→山辺ワイナリー)		
11-8	平日の通勤でタウンズニーカー東コースを利用している。休日は、家族で、松本市街地へ出かける際にも利		【エ その他】 将来にわたって持続可能な公共交通サービスを提供できるよう、引き

No.	意見等の概要	市の考え方
	用している。始発及び終発の時分設定や便数は、現状が最適と考える。	続き公設民営の取組みを進めます。
11-9	キャッシュレス化にお金をかけるよりも、便数を増やしてほしい。便数が増えるのであれば、運賃が20円以上あがってもよい。	【エ その他】 キャッシュレス化を推進し、利便性の向上を図るとともに、乗降データを活用することで、限られた運転手や車両で効率的かつ効果的なバス運行及びコスト削減を実現できるよう引き続き運行事業者と調整します。
11-10	JR広丘駅直行バスについて、朝夕の通学時間帯での便数を増やしてほしい。停留所位置が分かりにくいいため、広報誌、ホームページ等で情報発信されたい。	【エ その他】 JR広丘駅直行バスを運営する山形村にご要望を伝えます。
11-11	山形村は、車がないと不便なため、結婚を機に松本市に移住した知人がいる。これからの子どもたちにとっても住み良い村となしてほしい。	【エ その他】 ご要望を山形村に伝えます。

イ 乗務員態度、車内環境、バス待ち環境等

No.	意見等の概要	市の考え方
11-12	岡田線及び四賀線を利用しているが、車内が臭い時が多く、吐き気を催したり気分が悪くなったりする。タクシーのような空気清浄機設置など消臭対策をしてほしい。	【エ その他】 車両を管理する運行事業者にご意見を伝えます。
11-13	運賃を上げるなら、松本駅前バス乗り場を改修してほしい。雨の日はベンチが濡れて座って待てる場所がない。	【エ その他】 今回の運賃値上げは、昨今の人件費、燃料費等の高騰を受け、基本運賃を一律20円値上げするものです。 松本駅お城口のバス待ち環境は、かねてよりアンケート調査などでご意見いただいていることもあり、令和6年度にベンチを増設したところですが、引き続き課題と捉え、検討していきます。
11-14	運転が雑な乗務員が多い。	【エ その他】 丁寧な運転操作を心掛けるよう、運行事業者に伝えます。
11-15	雨の日、灼熱の日が大変なので、松本バスターミナル発にして、松本駅ロータリー経由にしてほしい。座る所もなく、雨の中、炎天下の中立って待っているのは酷である。	【エ その他】 電車との乗継ぎを考慮した利便性の向上を目的に松本駅お城口発としています。 なお、お城口のバス待ち環境は、か

No.	意見等の概要	市の考え方
		ねてよりアンケート調査などでご意見いただいていることもあり、令和6年度にベンチを増設したところですが、引き続き課題と捉え、検討していきます。

ウ その他

No.	意見等の概要	市の考え方
11-16	今後は、自家用車を持たない世帯への割引パスなどを企画してほしい。	【イ 参考とする意見】 今後の運賃政策の中で研究します。
11-17	松本駅から岡田東区停留所までの片道運賃を320円から260円にしてほしい。	【ウ 対応が困難な意見】 走行距離に応じて運賃を決定する制度のため、他路線との整合性の観点から、特定の区間を値下げすることは困難です。
11-18	「信州ナビ」でバスの位置情報が表示されない場合があるため、改善してほしい。バスは、遅延が発生しやすく時刻表よりも位置情報を頼りにしている。定刻の発着時間に位置情報が表示されないと、出発したのか遅延しているのかが分からない。	【エ その他】 「信州ナビ」を運営する長野県にご指摘いただいた事項を伝えます。 なお、チケットQRが提供する「ぐるっとまつもとバスロケーション」では、運行中の全てのバスの位置情報を確認できますので、併せてご活用ください。
11-19	チケットQRアプリ上での二次元コード支払は、降車後にネットワーク暗証番号とSMS認証が必要であるため、不便である。	【エ その他】 セキュリティ対策強化のため、認証が必要となるものです。各種モバイル決済を決済方法に設定している場合は、降車後に認証が必要です。 なお、クレジット決済及び一部のモバイル決済を設定した場合は、認証不要で決済することができます。
11-20	地域公共交通の存続と維持のために、バス乗務員確保の施策として、バス乗務員を松本市の公務員にしてはどうか。	【エ その他】 バス運転手の不足は、公営や市営に関わらず、全国的に深刻な問題になっています。松本市としては、乗務員の確保に直接携わる立場にはないものの、安定的な乗務員の確保は持続可能な路線バスの運行に必要な不可欠なことと捉えています。引き続き、運行事業者の乗務員確保の雇用状況を注視するとともに、バス事業に従事する人材を確保・育成できるよう、運行事業者と連携し、公共交通に対する理解やイメージの向上に努めま

No.	意見等の概要	市の考え方
		す。
11-21	<p>バスは、一人当たりのCO₂排出量が少なく環境に優しい乗り物ということをもっとアピールしてほしい。</p> <p>家族での外出にマイカーを控えてバスを使う選択をすることで、未来の環境負荷の軽減につながる。</p>	<p>【エ その他】</p> <p>環境負荷の少ない移動手段という観点からも路線バスが選ばれるよう、周知に努めます。</p>
11-22	<p>整理券を取っていない乗客は最大運賃を負担するなど、不正利用防止策を取ってほしい(運賃表に「整理券なし」の項目を設けるなど)。</p>	<p>【エ その他】</p> <p>整理券がない場合は、原則として始発地からの運賃を請求しています。</p>